

タンチョウの自然採食地保全活動が10周年を迎えます

～タンチョウの冬の楽園を未来へ～

JALグループは2016年より、公益財団法人日本野鳥の会(以下、「野鳥の会」と共同で、タンチョウの採食地環境整備活動を実施し、今年で10年目の節目を迎えました。

JALグループの飛行機の尾翼に描かれているシンボルは、国の天然記念物であるタンチョウをモチーフにしています。タンチョウは日本の美の象徴ともいえる存在でありながら、同時に絶滅を危惧され、国内希少野生動植物種にも指定されています。

当活動では、「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」を運営する野鳥の会のレンジャーの指導のもと、自然の恵みの中でタンチョウが給餌に頼ることなく、自ら餌を採れる環境(冬期自然採食地)を守るため、全国から集まったJALグループの有志社員が一丸となって笹や藪の刈払いや倒木の除去を行います。

JALグループは、豊かな地球を次世代へ引き継ぐ責任を果たすため、生物多様性を含む自然の保全活動を通して持続可能な社会づくりに貢献してまいります。



【活動概要】

実施日程：2025年10月24日(金)

場 所：北海道阿寒郡鶴居村

作業内容：タンチョウの餌資源となる生物の生息環境を整えるため、繁茂した笹や斜面の藪を刈払い、タンチョウが川へスムーズに出入りできる環境の整備、移動の妨げになる倒木の除去など

【JALグループの取り組み】

「タンチョウ越冬調査」：北海道と連携してタンチョウの生息数をカウントし、タンチョウのおおまかな生息個体数と分布状況を把握し、国のタンチョウ保護増殖に繋がっています。

「エコハーモニープログラム」^(※1)：タンチョウ保全活動に共に取り組んでいる長沼町・イオン北海道と連携し、生物多様性・保全を地域と共に学び、考えることで人間社会と自然環境の調和を目指す活動です。

(※1)「エコハーモニープログラム」という名前には、生態系「ecosystem」の保全を目的とし、環境と人間社会が調和「harmony」という意味を込めています。

「JALタンヨウフォトコンテスト」：生物多様性の大切さと美しい自然を守り続けたいという想いをこめて、2011年より実施しています。

(※2)第7回タンチョウフォトコンテスト：<https://www.jal.com/ja/sustainability/tancho2025/>

以上